

5月広報カレンダー

広報さの

■平成25年4月15日号

■編集

佐野市 政策調整課

※本紙は資源保護のため再生紙を使用しています

3 祝 ・こどもフェスティバル in SANO 2013
 (5月5日(祝)まで)
 [午前10時～午後3時:こどもの国]
 →広報さの4月15日号 P. 7

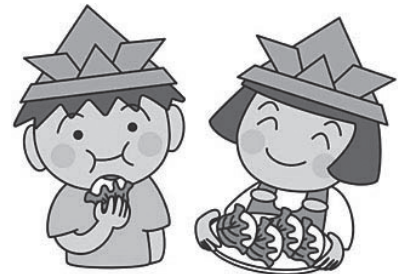


18 土 ・家庭緑化用苗木
 無料配布会



6 月 休 ・まちなか・まちかどギャラリー「いっ展べえ」
 最終日
 [JR佐野駅～厄よけ大師付近]
 →広報さの4月1日号 P. 19

12 日 ・渡良瀬川クリーン運動
 [午前8時～9時:高橋大橋下河川敷、船津川運動場]



第13回
 「シリーズ 田中正造」
 ～没後100年を迎えて～



「よみがえる郷土の偉人」①

『まんが田中正造』はもう
 ご覧になりましたか？

今回から、まんがの原作者である水樹涼子さんと、作画監修の千葉修平さん(文芸芸術大学講師)に話していただいた、まんが製作にかかるエピソードなどを掲載します。

今回は、まんが製作に取り組むにあたってのお二人の思いを紹介します。

■水樹涼子さん

「原作を書くにあたり、とにかく分かりやすさを第一に心がけました。正造の生涯そのものが文字通り劇的で、作家の心を揺さぶる魅力があるので、のたると感じます。なので、これまでにも正造が主人公の作品が多くあり、その内のいくつか読ませていただきました。新しい研究成果なども取り入れるなど、なるべく史実に忠実にする一方で、そのよな資料を安易に参考にするだけでなく、まんがとしてののおもしろさも大事にしたいの

で、そのバランスに苦労しました」

■千葉修平さん

「子どもたちにとつての正造は『偉人』というイメージが大きく、少し距離があるように感じました。なので、まずは、読む子どもたちに、正造も自分たちと変わらない人間なんだ、ということ伝えようと、『人間・田中正造』を描くというところを中心に据えて考えました。結婚騒動や、冗談を言い合いながら新聞を作る場面、若いころは暗記力が悪かったことなど、親しみを感じやすい場面は丁寧に描きました。絵柄もリアルになりすぎないように、多少デフォルメして丸っこい感じを出したので、見やすくなつたのではないかと思います」
 (平成24年10月28日「まんが発刊記念シンポジウム」にて)

出演者募集

※10月に上演する「記念演劇公演」の出演者オーディションを実施します(5月上旬)。興味のある方は当推進室までお問い合わせください

■問合せ 田中正造翁没後百年顕彰事業推進室 ☎(22)8832 URL <http://www.city.sano.lg.jp/shozo-ou/>

